

堺市におけるがん対策の 取組状況について



堺市 健康推進課

堺市のがん対策の経過

- 堺市がん対策推進条例の制定（平成24年9月27日条例第48号）
- 堺市医療圏がん診療連携ネットワーク協議会の設置（平成25年2月7日）
- 堺市がん対策推進委員会の設置（平成25年4月1日）
- 堺市のがん対策の推進について（諮問）（平成25年10月3日）
- 堺市のがん対策の推進について（答申）（平成26年12月9日）
- 胃がんリスク検査の導入（平成28年10月1日）
- 前立腺がん検査の導入（平成29年6月1日）
- がん検診総合相談センター（コールセンター）の開設（平成29年6月1日）
- がん検診総合相談ポータルサイトの開設（平成29年6月28日）
- がん検診受診促進強化期間を設定し、5がん（胃・肺・大腸・子宮・乳がん）検診自己負担金無償化を実施（平成30年度・令和元年度）
- がん検診受診促進強化期間を延長し、5がん及び胃がんリスク検査、前立腺がん検査自己負担金無償化を実施（令和2年度～令和5年度）

堺市におけるがん検診受診率及び精密検査受診率の向上、死亡率の減少等を達成するため、より効率的かつ効果的に、それぞれの組織の業務連携によるがん対策の取組を展開する。

事業イメージ

これまでの課題：それぞれの組織でがんに関する取組を行ってきたが、多くの事業で連携が取れずそれぞれに取り組まれており、受診につながる効果的な啓発等が行えていなかった。

①堺市

これまでの主な取組

- ・各種がん検診の実施（集団・個別）※無償化の実施
- ・イベントや地域へ出向いてのがん予防啓発の実施
- ・乳幼児健診等での禁煙指導、受動喫煙防止啓発
- ・小、中学校でのがん教育の実施
- ・市民と協働したがん検診の周知・啓発

②がん診療拠点病院、地域医療機関

これまでの主な取組

- ・がん検診の実施、受診啓発、がん登録事業への協力
- ・緩和ケアの啓発、在宅緩和ケアマップの作成
- ・地域連携パスの導入実績の向上
- ・標準的ながん医療を受療できる体制の充実
- ・情報提供・相談支援機能の強化

③患者会など

これまでの主な取組

- ・がん患者会の会報誌の作成、講演会、交流会の開催
- ・店舗などによるがん関連事業啓発の実施、従業員への検診受診勧奨
- ・事業所における受動喫煙防止の取組

強 化 事 業

- ・精密検査者の追跡と管理【①、②】
→対象者名簿の作成、文書等による調査
- ・小、中学校でのがん教育の実施【①②③④】
→医師、看護師、がん経験者などによる授業と保護者への啓発
- ・医療機関、地域などとの連携【①②③④】
→保健センターを中心とした地域が一体となった啓発を実施
- ・SMSなどの個別通知によるがん検診受診勧奨【①】

④学校、地域など

これまでの主な取組

- ・小6、中3でのがん教育の実施
- ・地域活動での健康づくりに関する活動実施

堺市のがん検診と受診率向上の取組

堺市が実施しているがん検診（査）

がん検診
自己負担金
無料

令和6年
3月末まで

検診名	対象者（検診を受診する日の年齢）	備考
胃がん	50歳以上の偶数年齢※の市民	
肺がん	40歳以上の市民	痰の検査：50歳以上で喫煙指数（たばこ1日本数×喫煙年数）＝600以上の方
大腸がん	40歳以上の市民	
子宮がん	20歳以上の偶数年齢※の女性市民	
乳がん	40歳以上の偶数年齢※の女性市民	
胃がんスク検査	35～49歳の市民	左記の年齢の間に1回
前立腺がん検査	50～69歳の偶数年齢※の男性市民	（胃、肺、大腸がん検診、または堺市国民健康保険特定健康診査との同時実施）

※奇数年齢の方も、前回の偶数年齢で受診していなければ受診が可能。
（各区の保健センターで事前申請が必要。）

【H30】

- ・がん検診自己負担金無償化の実施
- ・がん検診総合相談センター架電勧奨の強化（～R3）
- ・医療機関へのポスター掲示（H30～）

【R1】

- ・がん検診自己負担金無償化の実施
- ・託児付き子宮がん検診の実施（～R1）
- ・バス車内アナウンスの実施（～R2）

【R2】

- ・がん検診自己負担金無償化の延長、胃がんリスク、前立腺がん検査自己負担金無償化の実施
- ・SMSによる受診勧奨実施（R2～）
- ・ニュースアプリ広告（～R3）

【R3】

- ・5 がん検診＋胃がんリスク、前立腺がん検査の自己負担金無償化の延長
- ・乳がん検診の休日実施（R3～）

【R4】

- ・5 がん検診＋胃がんリスク、前立腺がん検査の自己負担金無償化の延長
- ・ゴルゴ31とのコラボポスターによる啓発の実施（～R5）
- ・ナッジ理論などを活用したSMS受診勧奨

令和5年度の主な取組について

啓発の内容	啓発の手段	啓発時期	啓発の対象
がん検診制度・無償化の 周知・啓発	市広報紙の啓発	4月号、10月号 (特集)	全世帯
	医療機関等でのポスターの掲出 (ゴルゴポスター等)	令和5年4月から	医療機関、歯科、薬局を 利用する市民
	専用ポータルサイトのリニューアル 「堺市けんしん総合サイト」	令和5年4月から	インターネットを利用する市民
個別受診勧奨の実施	郵送物による個別勧奨の実施	7月、10月郵送	20～69歳の女性市民（子宮）※ 40～69歳の女性市民（子宮・乳）※ 50・60・64歳の男性市民（胃・肺・大腸） 40歳の市民（5がん） ※対象年齢の市民から未受診者等に送付
	SMSを用いた受診勧奨、再勧奨 の実施	7月、10月送信	過去にがん検診を受診した者

令和5年度の主な取組について

啓発の内容	啓発の手段	啓発時期	啓発の対象
がんに関する知識普及、 予防啓発	ホームページ、リーフレットやチラシを用いた啓発	通年	市民
	ブレストアウェアネス及び乳がん自己触診法の 情報提供（乳幼児健診などの機会に実施）	通年	20歳から39歳を中心とした 女性市民
	母の日に合わせ乳がん啓発メッセージカードの 配布及び乳がん啓発パネル展示	4月20日～5月14日 パネル展示5月1～15日	市内の生花店で母の日の プレゼントを購入された市民
	ブレストアウェアネス研修	6月29日	乳がん検診受診の啓発等 に携わる保健師・看護師
	健康チェックイベントの開催(市役所ロビー開催)	9月8日	市民
	さかい健康フェスティバルinイオンモール堺鉄砲町 がん診療拠点病院や健康増進に関する連携協 定締結企業等と連携した啓発や各種講座開催	9月16・17日	市民
	乳がん月間における旧堺燈台・フェニーチェ堺 街路灯ライトアップ	9月29日～10月4日 街路灯は10月1日のみ	市民
	乳がん月間におけるパネル展	10月2日～12日	市民
	乳がん月間におけるポスター啓発	10月	市内の協力浴場等利用者
	AYA WEEK2024に合わせたパネル展及び イベント開催(予定)	3月	市民

がん検診受診率向上をめざして・・・

市のがん検診の制度について、広報紙や市公式SNS（旧Twitterなど）、デジタルサイネージ、ポスター掲示などを活用し、幅広く啓発を実施。

また、検診対象者へはがきやSMS等を活用した個別受診勧奨を行っている。

ゴルゴ13とのコラボポスター



SMS（ショートメッセージ） による個別受診勧奨



7月21日(金) 11:06

【堺市より】過去に堺市のがん検診を受診された方へ
堺市では自費で受けると数千円～1万円以上のがん検診が、令和6年3月31日まで無料です。ぜひ、この機会にがん検診を受診ください。
詳細はこちらをクリック→<https://kenshin.cancerscan.jp/sakai-city/C8W89TK>
堺市 健康推進課 [072-222-9936](tel:072-222-9936)

がん検診受診率向上をめざして・・・

○さかい健康フェスティバルinイオンモール堺鉄砲町

令和5年9月16日・17日に健康増進普及月間に合わせ、上記イベントを開催。

(イベントの主な内容)

- ・がん相談支援センターやがん患者と家族の会「よりそい」と連携した相談・啓発ブースの設置
- ・健康増進に関する連携協定締結企業の協力を得て、拠点病院の専門医による市民公開講座を開催
- ・乳がん検診(予約制)の開催



イオンモール駐車場でがん検診車による乳がん検診



乳がん模型を使って啓発



講演中の様子

がん検診受診率向上をめざして・・・

堺市 総合サイト

<http://www.sakai-kenshin.jp/>

令和5年4月～
ポータルサイトを
リニューアル

堺市けんしん総合サイト

検索

堺市  総合サイト 受けよう！けんしん

MENU

自己負担金 無料

受けよう！
がん検診
早期発見、早期治療で
がんは治る可能性が高い病気です

がん検診受診促進強化期間 ▶ 令和6年3月31日まで

Q&Aコーナー

あなたが受ける健診(検診)は？
生年月日と性別から調べる

医療機関を探す

堺市  総合サイト 受けよう！けんしん

MENU

生年月日と性別から調べる

[トップページ](#) / 生年月日と性別から調べる

性別
☐ 男性 ☐ 女性

生年月日
2005 年
1 月 1 日

検索する

堺市  総合サイト 受けよう！けんしん

MENU

医療機関検索

[トップページ](#) / 医療機関検索

健診(検診)を受けられる医療機関を、「エリア」「受けたい検査項目」「沿線・最寄り駅」「詳細条件」から検索することができます。

エリア ※複数選択可
☐ 堺区 ☐ 美原区 ☐ 東区
☐ 西区 ☐ 南区 ☐ 北区
☐ 中区

検査項目 ※複数選択可
選択した健診(検診)のすべてを実施している医療機関が表示されます。

生年月日と性別で受けられる検診を検索したり、
がん検診等の実施医療機関の検索が可能に。

各区の保健センターや健康推進課に
電話で問い合わせることも可能



がん検診受診率の推移

堺市の全年齢受診率

対象者数算出・・・人口－（就業者数－農林水産業就業者数）

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	対H29 増減
胃がん	5.4%	6.3%	7.7%	7.1%	6.8%	7.7%	2.3P ↑
肺がん	6.8%	9.2%	10.6%	9.4%	10.9%	11.3%	4.5P ↑
大腸がん	13.0%	14.1%	14.6%	12.7%	13.6%	13.5%	0.5P ↑
子宮がん	23.6%	24.2%	27.2%	25.5%	24.3%	25.8%	2.2P ↑
乳がん	18.6%	18.9%	21.3%	19.4%	18.1%	19.5%	0.9P ↑

がん検診の精密検査受診率について

■精密検査受診率の許容値と堺市の精密検査受診率

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
許容値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
R1	85.7	72.5	<u>51.2</u>	73.5	90.0
R2	86.9	74.7	<u>45.8</u>	<u>66.1</u>	90.4
R3	93.7	<u>60.5</u>	<u>49.9</u>	<u>61.1</u>	89.9

令和5年度 精密検査受診率向上の取組

①受診者への周知

- ・検診結果が「要精密検査の場合は必ず精密検査を受けること」を事前周知するため、受診票に案内用紙を添付

②医療機関への協力依頼

- ・要精密検査者への精密検査受診勧奨、及び精密検査結果報告書の提出依頼

③追跡調査の実施

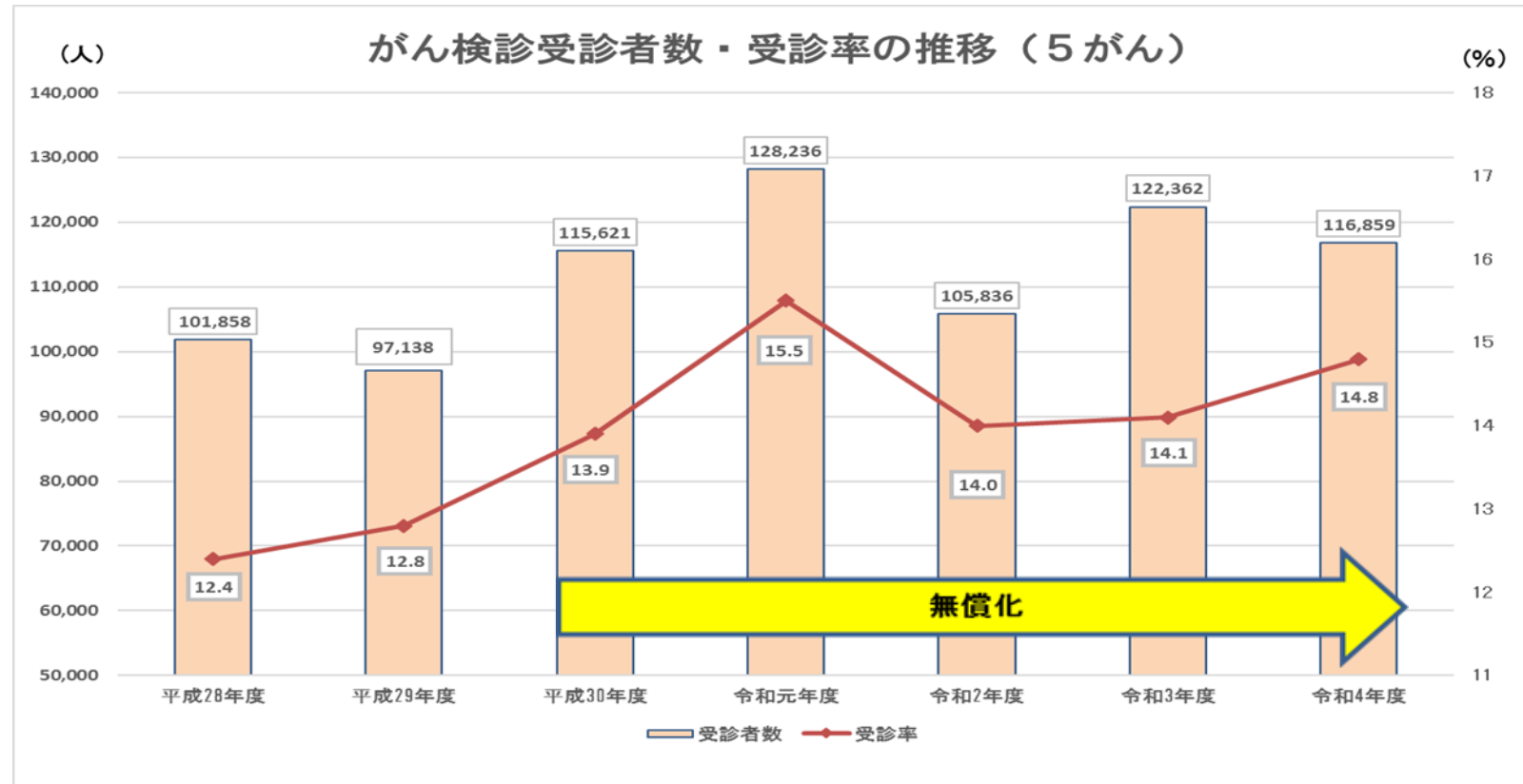
- ・精密検査結果未把握者について、医療機関、及び受診者へ追跡調査の実施

事業評価と今後の対策について

がん検診無償化の効果検証

堺市の5がん検診受診者数・受診率の推移

- がん検診の無償化以降、受診者数・受診率は増加している。令和2・3・4年度はコロナ禍の影響を受けており、令和4年度は、コロナ陽性者数拡大等の影響から令和3年度に比べると受診者数が減少した。一方で、令和2年度に比べると受診者数は増加したため、受診率は回復している。



参考) 堺市の受診率

※本市独自の対象者により受診率を算出【対象を（国勢調査人口－就労人口＋農林水産業人口）の割合で算出】

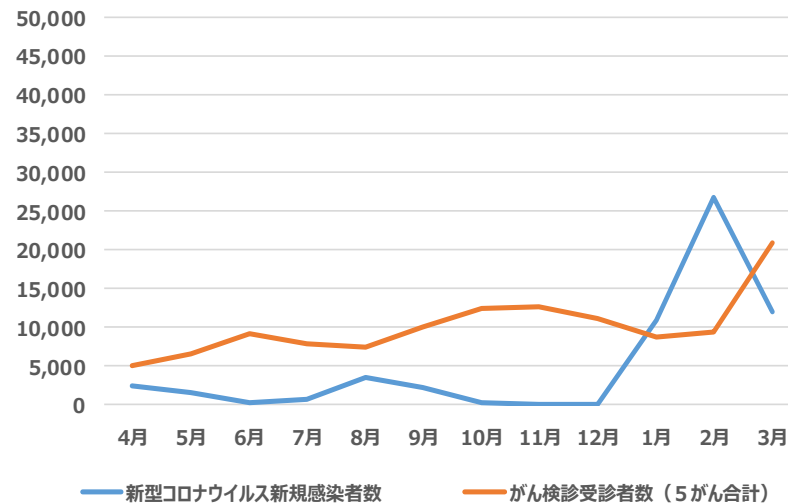
※胃がん、子宮がん、乳がんは2年に1回の受診となるため、2年間の受診者数を足して受診率を算出。

がん検診無償化の効果検証

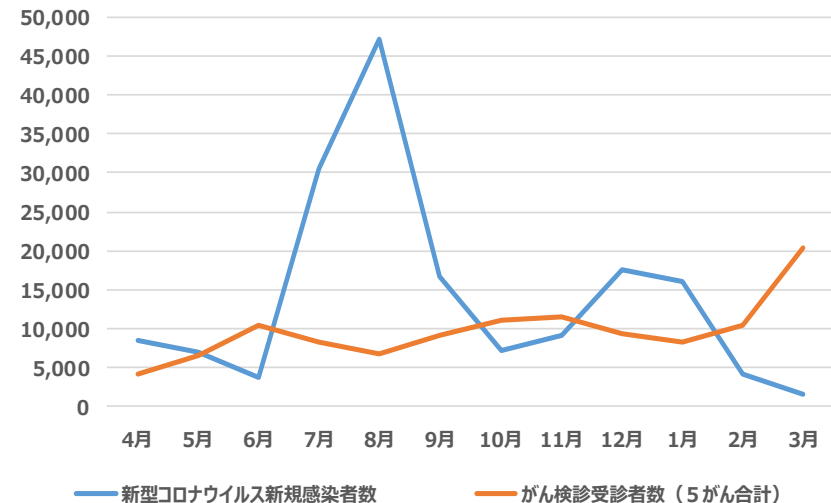
新型コロナウイルス新規感染者数とがん検診受診者数の月別推移（5がん）

- 令和4年度は、新型コロナウイルス新規感染者数が令和3年度に比べて増え、特に7月・8月にかけて爆発的に増大している。がん検診受診者数においては、感染者数と反比例する形で増減しており、7月・8月の感染拡大以降は、令和3年度に比べて、ほとんどの月で受診者が減少した。

令和3年度 新型コロナウイルス新規感染者数とがん検診受診者数の推移



令和4年度 新型コロナウイルス新規感染者数とがん検診受診者数の推移

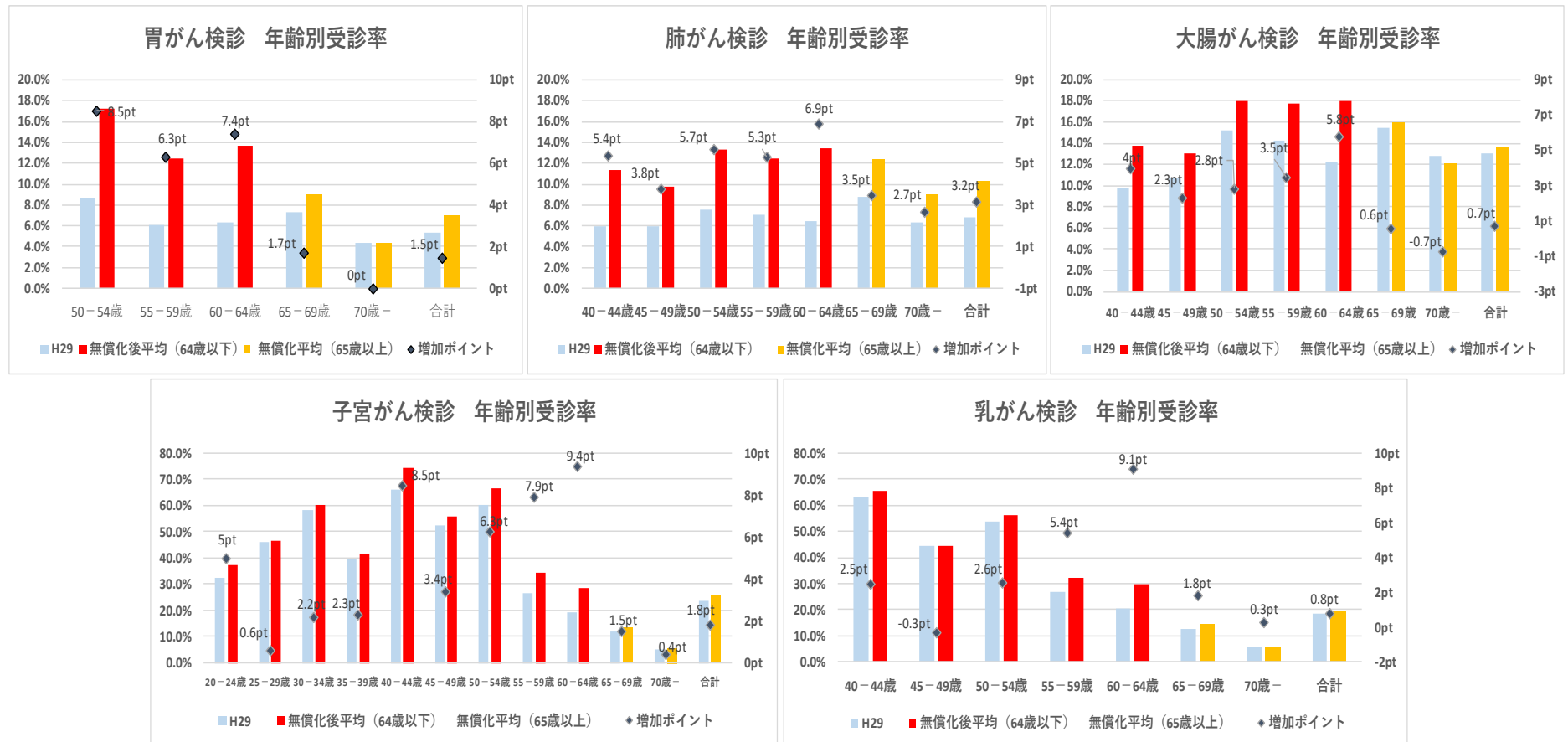


		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	新型コロナウイルス新規感染者数	2,388	1,407	295	632	3,536	2,111	181	53	50	10,919	26,702	11,998	60,272
	がん検診受診者数（5がん合計）	5,014	6,435	9,133	7,739	7,366	10,103	12,373	12,661	11,091	8,699	9,317	20,853	120,784
令和4年度	新型コロナウイルス新規感染者数	8,489	6,979	3,630	30,574	47,125	16,756	7,181	9,097	17,446	15,917	4,039	1,589	168,822
	がん検診受診者数（5がん合計）	4,017	6,543	10,311	8,241	6,775	9,141	10,976	11,459	9,376	8,175	10,426	20,386	115,826

がん検診無償化の効果検証

がん検診受診率（年齢別）の無償化前後の比較

- 各種がん検診の受診率の推移を無償化前（平成29年度）と無償化後（平成30年度から令和4年度までの5年間平均）で年代別にみたところ、ほとんどの年代で増加している。また、無償化で自己負担金なくなった64歳以下で特に受診率の増加ポイントが高い傾向となり、無償化による受診率向上の効果がみられた。



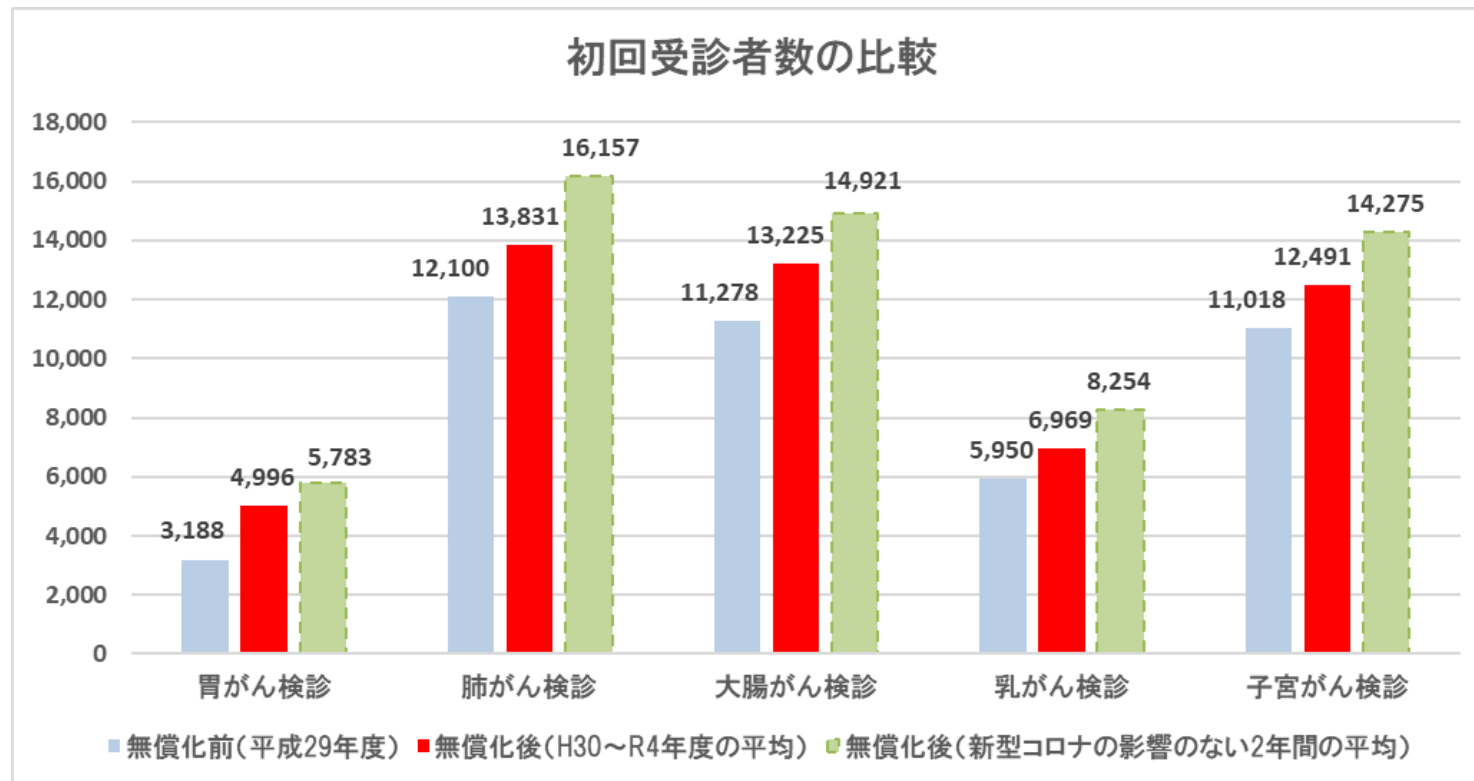
がん検診無償化の効果検証

初回受診者数の無償化前後の比較

- 初回受診者（初めて受診した者、過去3年間受診していない者）について、無償化前（平成29年度）と無償化後（平成30年度から令和4年度までの5年間平均）を比較したところ、すべてのがん検診で増加していた。

このことから、**無償化ががん検診受診のきっかけとして、効果がある**ことが分かった。

また、新型コロナの影響が少なかった2年間（平成30年度から令和元年度）の平均でみるとさらなる増加が見込まれていたと推察される。

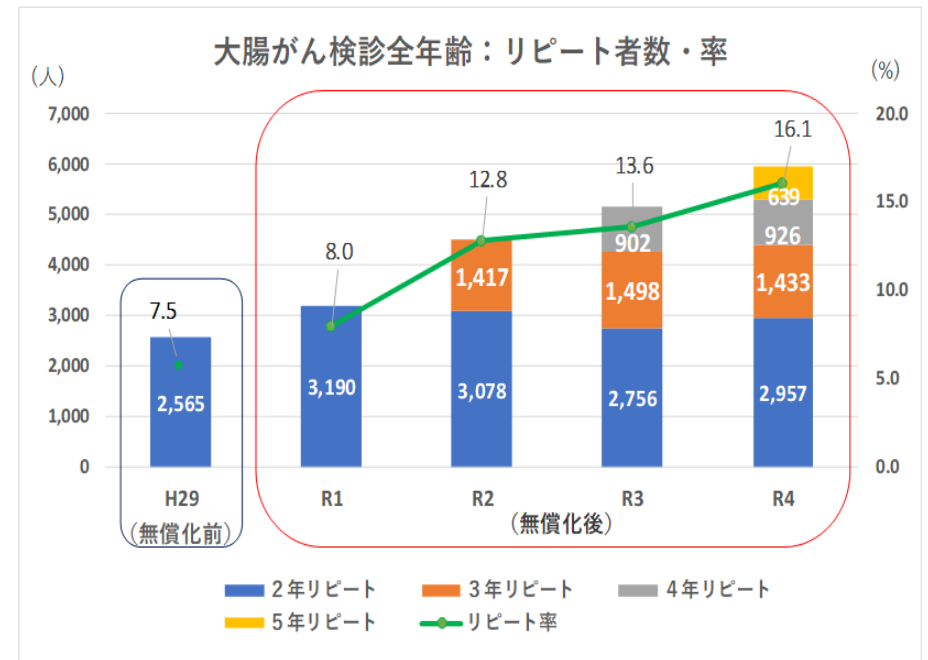
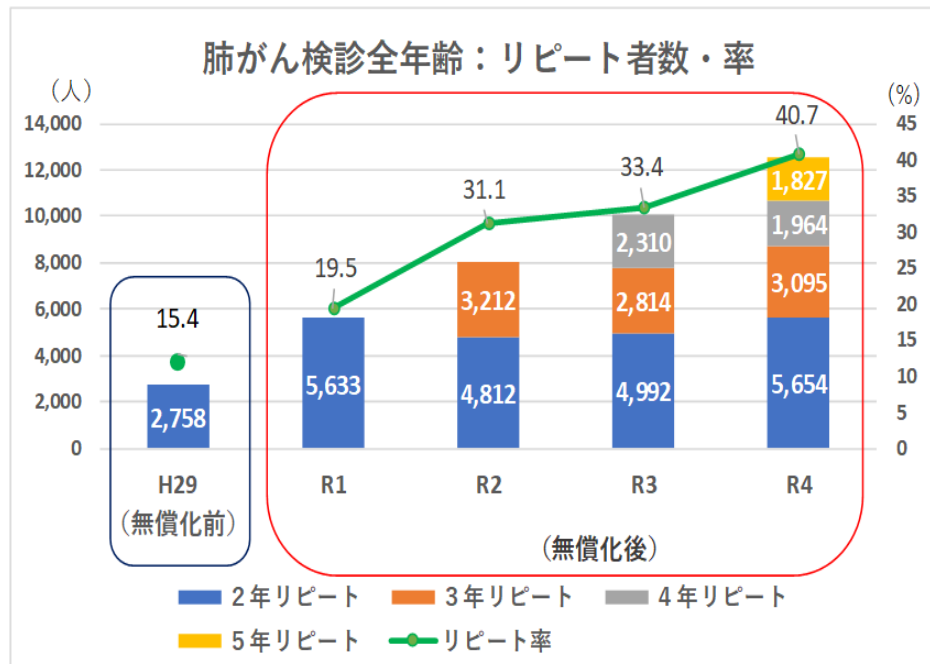


がん検診無償化の効果検証

無償化前後のリポート受診者数・率の比較

- 毎年度受診が可能な肺がん・大腸がん検診において、連続2年以上受診した人をリポート受診者、当該年度の全体受診者数のうち、リポート受診者の割合をリポート率として、無償化前後を比較した。

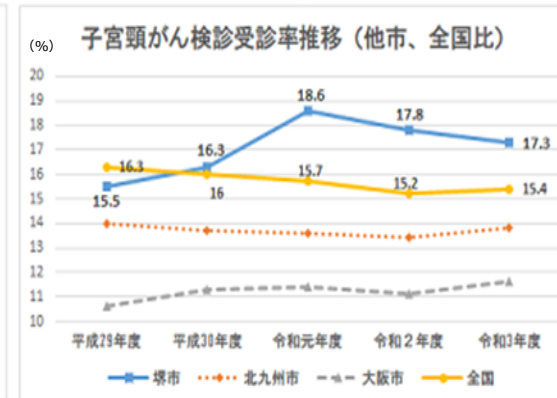
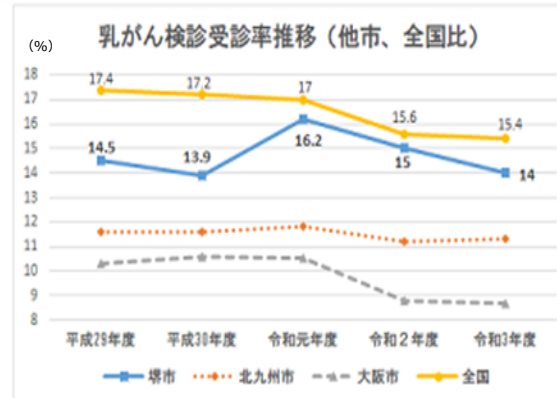
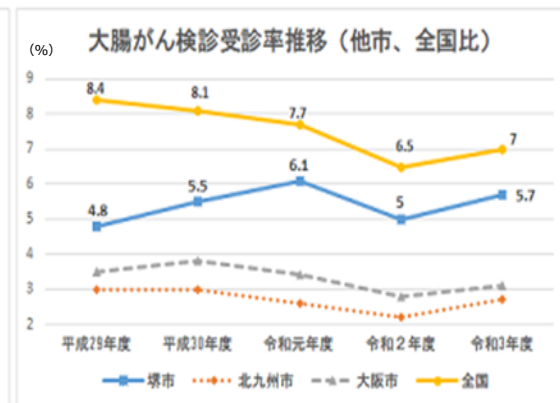
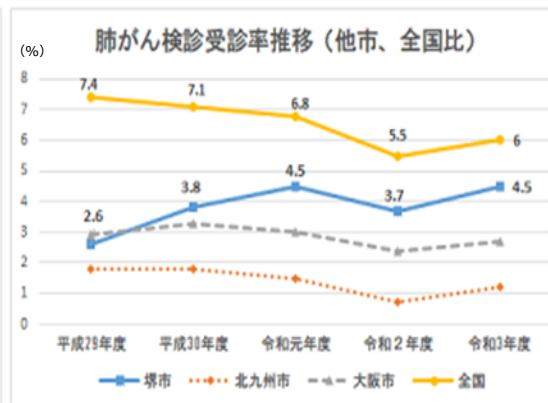
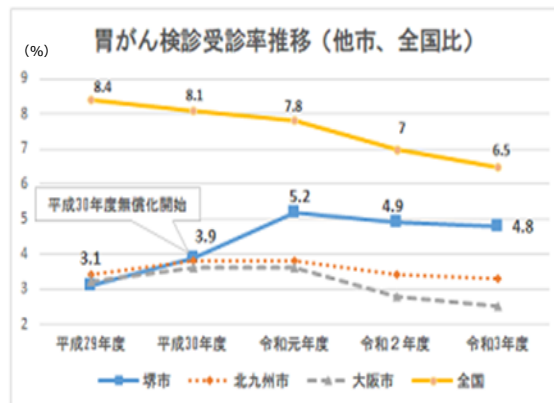
無償化前の平成28～29年度にかけてのリポート受診者数・率と比べて、無償化後の平成30年度以降に初回受診した人のリポート受診者数・リポート率は令和元年度以降年々増加しており、**無償化以降に受診した人が無償化継続によってリポート受診につながっているといえる。**



がん検診無償化の効果検証

全国、他市（有償がん検診実施2都市）との受診率の比較

- 全国と他市（がん検診を有償化している大阪市及び人口の近い北九州市）との各種がん検診受診率を比較したところ、全国、他市は受診率が減少傾向にあるのに対し、本市は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、無償化を開始した平成30年度以降無償化前と比べて増加傾向にあり、全国平均に近づいている。子宮頸がん検診においては全国平均を上回っている。



※地域保健・健康増進事業報告：対象となる全住民（69歳以下）による算出

がん検診無償化の効果検証

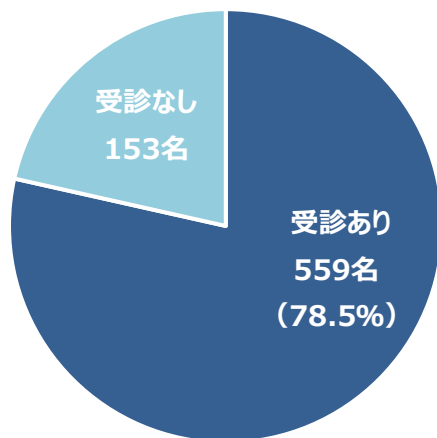
市民アンケート結果より

■ がん検診の自己負担金無償化等の施策にかかる市民のニーズを把握する目的で、市民アンケートを実施した。

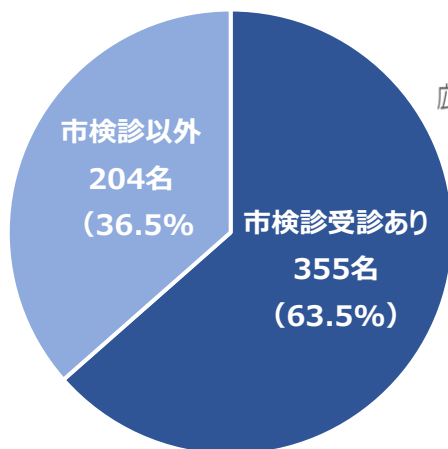
有効回答数は712名であったが、そのうちなんらかのがん検診を受けたことのある者が559名（78.5%）、堺市のがん検診を受診したことがあると答えた者は559名中355名（63.5%）であった。

堺市のがん検診を受けたことがある者にがん検診を受けたきっかけは何か聞いたところ、355名中145名（40.8%）が「無料で受けられると知ったから」と回答しており、4割の回答者が自己負担金無償化をきっかけに、がん検診の受診につながっていた。

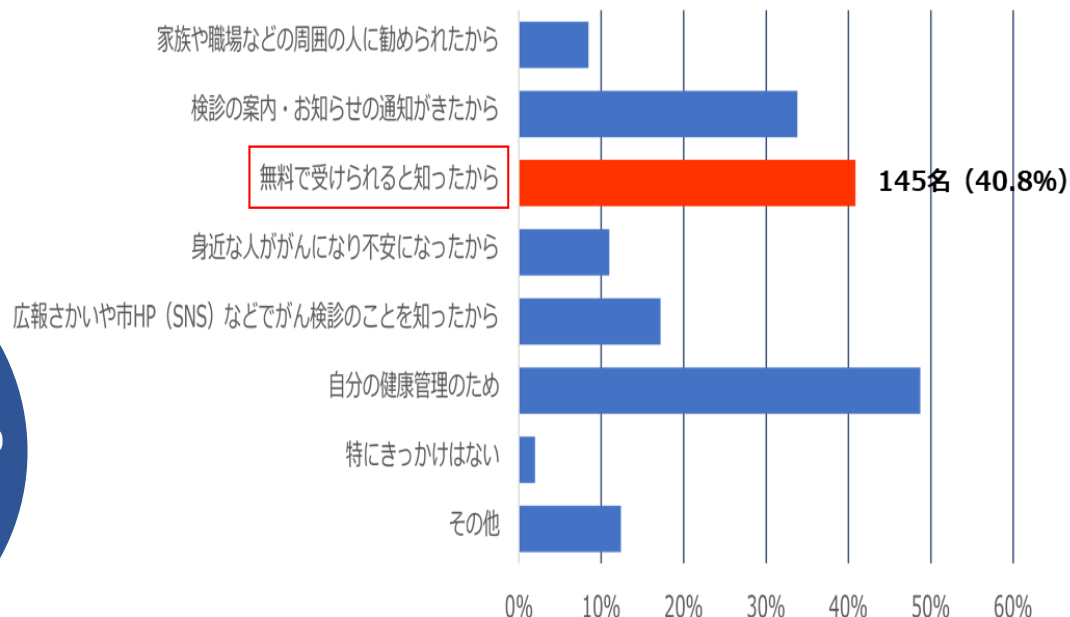
がん検診受診状況
(n=712)



堺市のがん検診受診状況
(n=559)



堺市のがん検診を受診したきっかけはなにか（複数回答可）（n=355）

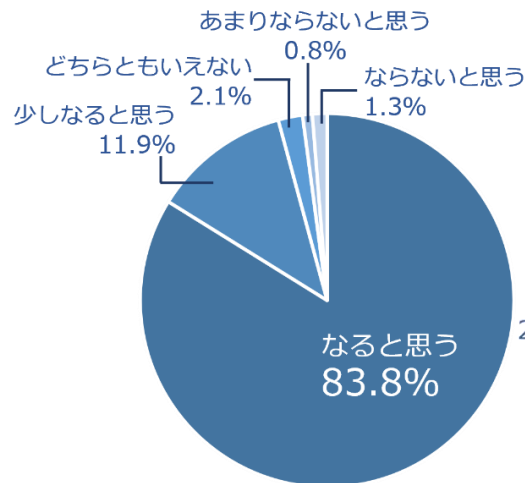


がん検診無償化の効果検証

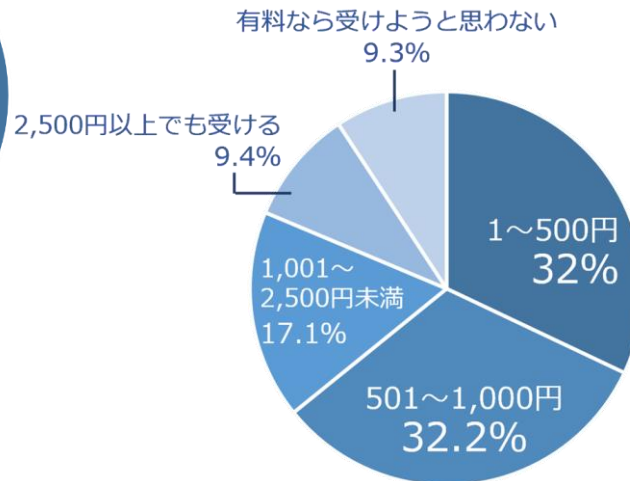
同アンケートより、「自己負担金無償化はがん検診を受けるきっかけになるか」との問いには、「なると思う」「少しはなると思う」と回答した者が712名中682名と95.7%を占めていた。「どのような条件であれば受けようと思うか」との問いでも、「検診の自己負担金が無料」と回答した者が712名中417名（58.6%）という結果になった。

「がん検診の自己負担金は何円までならがん検診を受けようと思うか」の問いには、「501～1,000円」（32.2%）が最も多かった。その他、がん検診に関する意見として、「経済的に助かっている」「期限を決めずに無料にすれば受けやすくなる」「もっと周知をしてほしい」などの意見(自由記載要約)がみられた。

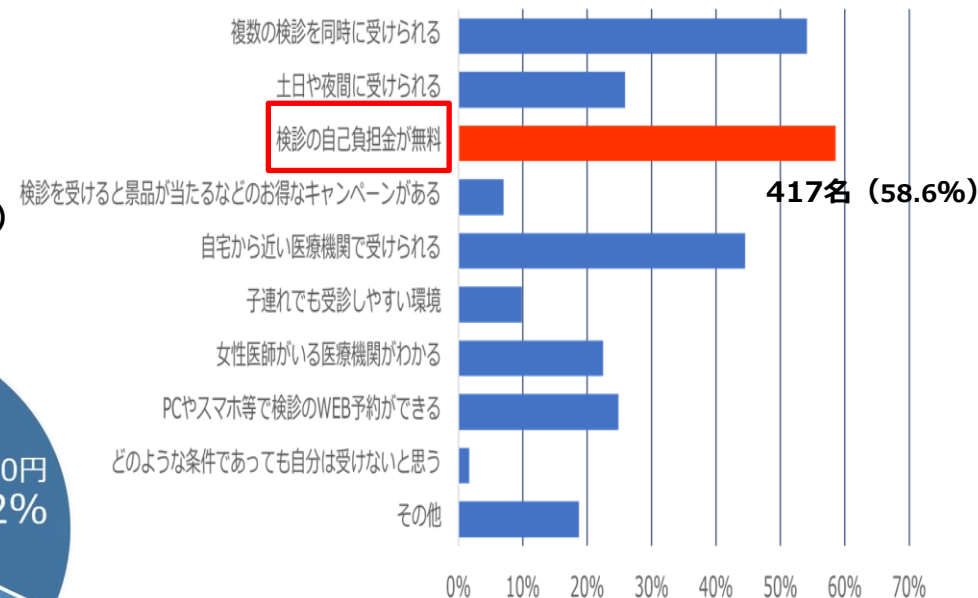
Q.がん検診の自己負担金無料はがん検診を受けるきっかけになると思うか（n=712）



Q.何円までならがん検診を受けようと思うか（n=712）



Q.がん検診を受ける環境について、どのような条件があれば受けようと思うか（複数回答可）（n=712）



今後の対策について

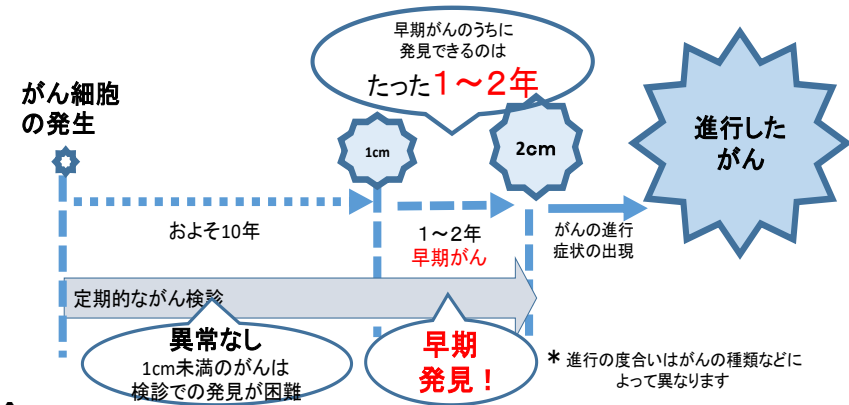
■がん検診における課題

1.さらなる受診率の向上

- ・国はがん検診受診率の目標値を60%に引き上げ。
- ・コロナ禍以降受診率は回復傾向にあるが、ピーク時には戻っていない。
- ・無償化後、受診率は全国平均に近づいているが、すべてのがん検診で全国平均を上回ることができていない。
- ・精検受診率において許容値を満たしていないがん検診がある。

2.定期受診者（継続受診者）を増やす

- ・早期がんの発見できる期間は1～2年(右図)であり、**定期的な検診受診をしてこそ早期発見の効果がある**ため、今後は新規受診者の獲得に加え、**継続受診につなげる必要がある**。



受診しやすい機会提供

あらゆる機会での情報発信・啓発

効果的ながん検診の実施

受診率向上等
をめざした
更なる
取り組み

- ★誰もが安心してがん検診を受けることができるような機会を提供（無償化など施策の検討実施）
- ★**ICTを活用し**、適切なメッセージの発信や市民が受診しやすい環境整備等を実施
- ★がん検診の精度管理の維持・向上を図る（精密検査受診率向上策などの強化等）

「がんによる死亡の減少」「健康寿命の延伸*」

*堺市基本計画2025 KGI [2030年度に男性74年女性77年]